

備前市事務事業評価表

事務事業名	観光施設維持管理事業（日生）	コード	04-03-01-07
		担当課・係	日生総合支所産業建設課
		担当者	星尾 靖行
		電話	72-1254
事業実施期間			
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目(基本施策)	個性あふれる観光のまちづくり	
	小項目(施策)	観光（観光地の整備）	

事業について			
目的 (何のために)	日生の観光施設をきれいに維持管理することで、観光客の誘客を図る。		
対象 (誰・何を対象に)	観光客・市民		
内容	鯨防護網設置、桶越山管理、観光トイレ等管理業務及び古代体験の郷、観光情報センター、ふれあいの館かげまち、ふれあい交流館しおまち、郷土料理館もやい茶屋の管理運営事業。		

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
委託団体	7 団体	7 団体	
直営（特別会計）	1 件	1 件	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	53,485	国庫補助金等		直接事業費	47,384	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	5,786	受益者負担		人件費	6,681	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債					市債	
	合計	59,271	一般財源等	59,271	合計	54,065	一般財源等	54,065	合計	0	一般財源等	0

結果指標	必要人員	0.67 人	0.72 人	
	結果指標名	委託団体数等		
	結果指標量	8		
	単位	団体		
結果指標	対前年比	100.00%		0.00%
	活動にかかるコスト	59,271,000 円	54,065,000 円	
	単位当たりコスト	7,408,875 円	6,758,125 円	
	結果指標名			
結果指標	結果指標量			
	単位			
	対前年比	-		
	活動にかかるコスト			
単位当たりコスト				

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	観光施設をきれいに維持管理することで、観光客の誘客を図る。		
成果指標名	施設維持管理事業	式又は説明	予定通り施設の維持管理できた。
	17年度	18年度	
成果指標量	8		
対前年比	-	0.00%	
到達目標値	適正な管理	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価 <A-E> A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	観光施設をきれいに維持管理することで、観光客の誘客を図ると共に、市民にも有効活用していただくことは妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	事業効果を検証しながら、観光客・市民の要望に対応できるように管理する必要がある。	
職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映しやすい		
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価 <A-E> B
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	観光を推進していく上で必要不可欠な事業であるため、今後も検証しながら進めていく必要がある。

平成19年度の状況		説明 指定管理以外の施設は経費を節減して継続している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 8	結果指標量
	成果指標量 適正な管理	

総合評価	評価区分 <A-E> B
観光事業を推進する上で必要不可欠な事業であるため、今後も検証しながら進めていく必要がある。	

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	委託料、経費の節減	随時	経費節減